

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 27 号
R 7. 07. 04
公益社団法人自衛隊家族会
事務局 長 阿部 知己

令和 7 年 7 月「月 報」

1 はじめに

令和 7 年度定期総会が終了し、翌日の募集協力者会同で募集・援護、家族支援協力等に係る中央施策の説明を受けました。参加された各県会長等の皆様は、「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」が取りまとめた「基本方針」をはじめとする最も新しい情報に触れ、また、家族会を代表して石川、三重、熊本の活動状況を内局・各幕の出席者に伝えることができ、互いに有益な内容であったと思います。

さて、募集協力強調期間が始まります。同時に、例年 7 月下旬から始まっていたサマーフレンドシップキャンペーンが始まります。このキャンペーンは、昨年の募集協力者会同で家族会から「対象者が夏休みに入る前に開始しては如何？」と提案し（そればかりが理由ではないとは思いますが・・・）、今年は 7 月 1 日から開始されていることは、募集協力者会同の席上、陸上幕僚監部から説明があった通りです。

「家族を守る、故郷を守る」→「国民を守る、国土（領土・領海・領空）を守る」という気高い心を支える処遇が大きく改善されていることを、募集対象者のみならず、そのご家族にも理解していただき、より多くの適格者に入隊していただけることを願っています。

各自衛隊地方協力本部との連携をよろしくお願いします。

2 防衛省・自衛隊の活動

6 月 21 日午後、空自美保基地よりジブチ派遣

イスラエルとイランの交戦を巡り、空自 C 2 輸送機 2 機が、邦人等の輸送に備えて鳥取県の空自美保基地からジブチに向け出発しました。派遣されたのは空自と陸自の隊員計約 120 名であり、現地で中東情勢を分析しながら、ジブチの自衛隊拠点で待機するとのことです。

鳥取県家族会が激励、見送りを行いました。



（7 月 1 日、防衛大臣から統合作戦司令官に対し、当該準備行為の終結が命じられ）ました。

3 家族会の活動

(1) 令和7年度定期総会、表彰、理事会、意見交換会の開催（6月17日）

○ 定期総会：議長：野呂青森県家族会長

ア 議案

第1号議案：令和6年度事業報告

第2号議案：令和6年度収支計算書
及び「監査報告書」

【両議案は可決されました。】

イ 報告

報告1：令和7年度事業計画

報告2：令和7年度分担金

報告3：令和7年度収支予算書

報告4：令和7年度資金調達及び設備投資の見込み

報告5：令和6年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告

報告6：基本財産の運用

報告7：「問い合わせ窓口」令和6年度を振り返って

令和2年度から開始した隊員及び家族（親等）からの問い合わせの件数、内容の分析、相談員の対応と結果、並びに総合所見などを報告

(公社)自衛隊家族会 定期総会



○ 第2回理事会

ア 議案

第1号議案：県自衛隊家族会長人事

山形、山梨 各県家族会の選出に基づき、それぞれ、新会長を決議。(敬称略)

	退任会長	新任会長
山形県家族会長	黄木 修治	大山 正弘
山梨県家族会長	興石 憲	小野 泰

第2号議案：運営委員人事

道満、大石 両運営委員の退任を承認。

【全ての議案が可決されました。】

イ 報告：代表理事及び業務執行理事の報告

○ 表彰

団体表彰として、埼玉県、鳥取県、東京都等 13 県等自衛隊家族会を表彰しました。

また、個人表彰として退任県家族会長などの4名を表彰し、それぞれ永年の労に感謝を表しました。

ア 団体表彰

○総合表彰

*最優秀賞：埼玉県自衛隊家族会

*優秀賞：鳥取県自衛隊家族会

東京都自衛隊家族会

○活動表彰 (以下○○県自衛隊家族会を○○県と略)

*会勢拡大優秀賞：茨城県、富山県

*おやばと購読優秀賞：岩手県、山梨県、徳島県、埼玉県

*家族支援協力活動優秀賞：長野県

*防衛講演会優秀賞：道東、埼玉県、東京都

*北方領土返還署名活動優秀賞：埼玉県

*募集協力活動優秀賞：秋田県、群馬県、石川県

*援護協力活動優秀賞：鳥取県

イ 個人表彰

*退任前山形県自衛隊家族会長：黄木 修治 様

*退任前山梨県自衛隊家族会長：興石 憲 様

*退任運営委員：道満 誠一 様

*退任運営委員：大石 多恵子 様



エ 意見交換会

中谷防衛大臣をはじめとする御来賓の出席の下、意見交換会を開催しました。

増田会長の挨拶の後、中谷防衛大臣、本田副大臣、小林防衛大臣政務官から、それぞれお言葉をいただき、中谷真一顧問からの挨拶の後、統合幕僚長吉田陸将から、最近の

部隊視察時に話した若い隊員の「家族を守るために！」という言葉に現れた隊員と家族（会）の絆のお話の後に乾杯のご発声。懇談の間に佐藤正久顧問もお話ししてくださり、参加者は日頃お目にかかれない防衛省高官の方々との交流で中央のお話を伺い、また、現場の状況をお伝えする貴重な時間を過ごすことができました。



中谷大臣



本田副大臣



小林政務官



中谷真一顧問（衆院議員）



佐藤正久顧問（参院議員）



吉田統幕長

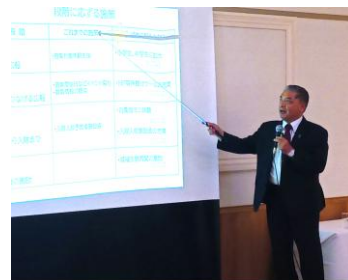
ご出席いただいた主な御来賓は次のとおりです。

防衛大臣	衆議院議員	中谷 元 様
防衛副大臣	衆議院議員	本田 太郎 様
防衛大臣政務官	参議院議員	小林 一大 様
防衛事務次官		増田 和夫 様
統合幕僚長		吉田 圭秀 陸将
陸上幕僚長代理 陸上幕僚副長		上田 和幹 陸将
海上幕僚長		齋藤 聡 海将
航空幕僚長		内倉 浩昭 空将
防衛省大臣官房長		萬浪 学 様
自衛隊家族会顧問 衆議院議員		中谷 真一 様
自衛隊家族会顧問 参議院議員		佐藤 正久 様
隊友会理事長		岩崎 茂 様
陸修偕行社理事長 火箱様代理		岩田 清文 様
水交会理事長 河野様代理		山村 浩 様
防衛弘済会理事長		田原 義信 様
全国防衛協会連合会会長 大宮様代理		山田 真史 様
朝雲新聞社代表取締役社長		中島 貴広 様
防衛ホーム新聞社社長		吉田 佳子 様

ご紹介した他、多くの皆様、有難うございました。

(2) 募集協力者会同

6月18日0900～1145の間、陸上幕僚監部主催の募集協力者会同に各県代表が参加しました。冒頭、陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長 巻口 1 佐のご挨拶に始まり、内局、陸・海・空各幕僚監部の施策の説明を受けたのち、自衛隊家族会を代表して石川県、三重県、熊本県の順で「募集協力活動における創意工夫」をテーマに、現場の状況とそれをいかに打開して募集～入隊につなげているかを発表し、本部から、竹本運営委員が入隊・入校確定者情報の提供に係る各地本との協定の意義と協定の例について説明し、防衛省側の理解と協力を求めました。



(3) 家族会活動トピック（各地で総会、防衛講話等）



愛媛県総会后、
八木海幕副長講話



東京都総会



兵庫県総会
堀井 元中部方面總監講話



神奈川県総会



神奈川県総会后、
山村 元海幕長講話



懇親会で挨拶する
←佐藤正久 顧問



↑ 山口 横須賀地方總監部幕僚長、



兵庫県総会



相園中部方面總監部幕僚長講話

(6) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和7年6月の「問い合わせ」件数について、各自衛隊担当者が直接対応したものは0件、事務局で対応を終了したものは11件であり、合計11件でした。

また、その中で、家族会会員からのものは1件のみであり、残りの10件が家族会会員以外の方からになります。今月の分類別では、相談者や隊員に関する相談事項、I分類が9件であり、家族会の組織に係るII分類の相談が2件ありました。

I分類の9件の中で配偶者からのものが5件、親御さんからのものが3件、また隊員自身からの相談も1件ありました。

相談内容は、隊員の心身の不具合、それに対する自衛隊部隊の対応への不満・心配事項が多く、セクハラ、パワハラといったワードを使用して訴えてこられる方もあります。

一方で、巷間「〇〇ハラ」が氾濫しているので安易にこの言葉を使った発言をされますが、自衛隊をはじめとして然るべき組織において〇〇ハラで訴えられた場合、訴えられた個人、組織の対応は、厳格な調査及び懲戒処分を含めた相当に厳しいものが有ります。従って、この言葉を使う方々とそれを評価・処理する立場の方々との間に、「〇〇ハラ」という言葉に対する感度においてギャップが有ると感じます。ここでも、親御さんの中には、ご子息の言葉を鵜呑み、過大解釈したのではないかと邪推してしまう様な、現在の自衛隊では考え難い様な相談内容もあり、更に、その憤懣を対応した当会の担当者へぶつけられる相談者も有ります。

なお、ご主人の異動について若い奥様からの相談で、遠距離異動、単身赴任、即日着任についての心配が寄せられました。特に、発令日の即日着任については、異動に伴う家族ケアを置き去りにして新配置に赴任する隊員も大変ですが、残され、場合によっては一人でその全てを措置しなければならない奥様のご苦労は、かつて自衛隊勤務の夫であった我身につまされます。人事異動というものが一つの連なる列車の様に一人一人の人材の連続であったとしても、時代の要請に応じて、配置の交代も多少の柔軟性、融通を考慮しなければ今後の募集・要員養成にも大きな支障が生じるでしょう。一方で、自衛隊の配置の中には、法令等でその人物の実際の所在が必須で面对の交代が必要なものもあります。例えば、海上自衛隊の艦長や機関長はその代表例でしょう。その配置が埋まらなければ部隊や船を動かすことはできず、行動にも支障が生じます。しかし、それさえもヘリコプターやオスプレーを使つての任務現場・洋上等での交代の配意や交代式典の簡素化・省略も一案として考慮する時代に突入してしまったという現状を強く感じます。

家族会に関する問い合わせ、即ちII分類が2件ありました。問い合わせ内容の真偽について引き続き調査中ですが、もしも、事実として大きな問題が有れば、組織の健全化の為に対応が必要です。家族会という組織にとって、この「問い合わせ窓口」の存在は、その為の窓口が開放されているというコンプライアンス対応上も意義の有ることであると理解しております。

4 事務局からの連絡

(1) 新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県家族会の会長・事務局長に就任された方々（以前研修を受けた方を除く）に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県家族会との連携を密にして円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を10月7日（木）に実施する予定です（開催場所は調整中。）。該当の方及び該当の方が所属する県家族会長へは実施の細部を7月下旬にお知らせしますので、よろしくお願いします。

(2) オリンピック冬季大会（ミラノ・コルティナダンペッツォ 2026. 令和8年2月6日～2月22日）出場隊員等支援募金のお願い。

令和7年度自衛隊家族会事業計画「(公2) 隊員等に対する慰問・激励」に基づき、来年開催のオリンピック冬季大会に出場する隊員等を支援・激励いたします。

出場選手が発表されるのは年明けになるようですが、自衛隊体育学校からは、クロスカントリーやバイアスロンでの活躍が期待されます。

つきましては、下記の要領で募金をよろしくお願いします。

① 募金額の基準：5千円／県家族会

② 募金期間：令和7年12月25日

③ 振込要領：

口座名：公益社団法人
自衛隊家族会

口座記号番号：

00140-9-6014

私 込 取 扱 票

口座記号番号 00140-9-6014

金額 5,000

公益社団法人 自衛隊家族会

オリンピック募金

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 00140-9-6014

公益社団法人 自衛隊家族会

金額 5,000

公益社団法人 自衛隊家族会

通信欄に必ず「オリンピック募金」とお書きください

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長

